

2026年度 松商ルーブリック

| 観点 | 探究リテラシー | | Level 4 | Level 3 ★到達目標 | Level 2 | Level 1 |
|----|--------------|---|--|--|---------------------------------------|---|
| 1 | 科学的知識の活用理解 | 教科書や資料で学んだ科学の知識を、意味や仕組みまで理解し、探究の場面で使える力 | 複数の科学的知識を関連付け、目的に応じて適切に選択・活用して探究を進めている | 学んだ科学的知識を意味や仕組みまで理解し、探究の場面で適切に使うことができる | 学んだ知識を理解し、探究の中で必要な場面に応じて活用できている | 知識を断片的に理解しているが、探究の場面で十分に活用できていない |
| 2 | データ分析・解釈力 | 自分でデータを集め、整理・比較し、根拠をもとに結果の意味や傾向を考え説明する力 | データの特徴や限界も踏まえ、根拠を明確にして多角的に解釈している | 得られたデータを整理・比較し、根拠を示しながら結果の意味を説明できる | 一次データを集めることはできたが、整理・比較ができていない | 自分で一次データを集めることができていない |
| 2 | 科学的思考・判断力 | 仮説や結果を論理的に検討し、根拠にもとづいて妥当な結論や判断を行う力 | 仮説・方法・結果を批判的に検討し、妥当性の高い結論や改善案を導いている | 仮説や結果を論理的に検討し、根拠にもとづいて妥当な結論を導ける | 仮説や結果を論理的に考え、根拠にもとづいた判断ができている | 判断が感想的・直感的になりやすく、根拠にもとづいて考えられていない |
| 3 | 探究・実験への主体的取組 | 自ら課題を設定し、PDCAで探究を進める力と姿勢 | 課題を自ら設定し、計画・実行・評価・改善を主体的に繰り返して探究を深化させている | 自ら課題を設定し、計画に基づいて実験を進め、結果を振り返って改善している | 課題設定や計画が不十分で、振り返りや改善が十分に次の行動に生かされていない | 与えられた課題や手順に沿って活動しており、自らの課題設定や改善がほとんど見られない |

| 観点 | 情報リテラシー | | Level 4 | Level 3 ★到達目標 | Level 2 | Level 1 |
|----|-------------------------|--|---|---|--|---------------------------------------|
| 1 | 情報収集力 | 目的や課題に応じて、信頼できる資料やオープンデータを選び、適切な方法で集める力 | 複数の情報源を比較し、目的に最適な情報を自ら選択して収集している | 目的や課題に応じて、信頼できる資料やオープンデータを選び、適切に情報を集められる | 課題に応じて必要な情報を選び、適切に収集できている | 情報源の選択が不十分で、集めた情報が課題と十分に合っていない |
| 1 | 情報倫理・安全理解 | 著作権や個人情報の大切さを理解し、安全で責任ある情報の扱い方ができる力 | 倫理や安全に配慮し、他者にも配慮した適切な情報活用ができている | 著作権や個人情報に配慮し、ルールを守って安全に情報を扱うことができる | 著作権や個人情報に注意し、基本的なルールを守って活用できている | 情報の扱いに対する配慮が不十分で、ルールの理解が浅い |
| 2 | 情報の評価・活用力 | 目的意識をもって情報を活用し、よりよい表現をする力 | 目的に応じて情報の信頼性を評価し、最も効果的な形で情報を整理・表現している | 目的を意識して情報を選別・整理し、自分の考えを分かりやすく表現している | 情報を集めて整理しようとしているが、目的との対応検討が不十分で、表現に工夫が少ない | 集めた情報をそのまま使用することが多く、目的意識を考えた活用ができていない |
| 3 | 目的と責任をもって“データを使いこなし”の姿勢 | 「何のためにデータを見るのか」を自分で決め、「正しく使う責任」を自覚している姿勢 | 問いや目的を自ら設定し、データの影響・正確さや責任を意識しながら、活用を継続的に行っている | 何のためにデータを見るかを意識し、正しく使う責任を自覚しながら、適切に活用している | データの目的や責任を意識し始めているが、活用の判断が周囲に依存し、自律的とは言えない | 目的を考えずにデータを扱い、正確さや責任への意識が乏しいまま利用している |

| 観点 | 国際理解リテラシー | | Level 4 | Level 3 ★到達目標 | Level 2 | Level 1 |
|----|----------------|---|-------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|------------------------------|
| 1 | 多言語理解・高度表現 | 多言語を用いて、情報や意見を正確に理解し、論理構造を意識して学術的に表現する力 | 抽象的・専門的内容も正確に理解し、学術的に表現できる | 文脈や論理を踏まえ、根拠を示しながら自分の考えを的確に表現できる | 文章や発言の要点を捉え、自分の意見を簡潔にまとめて伝えられる | 基本的な語彙や表現を理解し、定型的な形で意思を伝えられる |
| 2 | 論理的対話・ディスカッション | 他者の意見を踏まえながら、論点を整理し、建設的に議論を深める力 | 文化的背景を尊重しつつ議論を整理し、合意形成や結論導出を主導できる | 相手の文化や立場を踏まえ、根拠を示して建設的に議論を深められる | 相手の意見や背景を意識しながら、自分の考えを伝えようとしている | 自分の考えを述べる事が中心で、相手への配慮が十分でない |
| 2 | 文化・社会の多角的理解 | 文化や社会を、歴史・宗教・制度・価値観などの背景と結び付けて相対的に理解する力 | 複数の文化・社会を比較し、相対化して論じられる | 歴史や価値観などの背景と結び付けて文化や社会を説明できる | 文化や社会の違いに気づき、その特徴を理解しようとしている | 異なる文化や習慣の存在に気づき、知ろうとしている |
| 3 | 国際課題の分析・協働的探究 | 国際社会の課題を多面的に分析し、他者と共同して解決を構想する力 | 国際的課題を多面的に分析し、根拠ある提案や行動計画を主体的に構想できる | 複数の視点から国際課題を捉え、他者と協働して解決を考えられる | 国際課題の概要や論点を把握し、話し合いに参加しようとしている | 国際的な課題の存在を知り、断片的に理解している |

| 観点 | キャリアリテラシー | | Level 4 | Level 3 ★到達目標 | Level 2 | Level 1 |
|----|-----------|--|--|--|--|---|
| 1 | 社会・職業理解力 | 社会の仕組みや仕事の役割を知り、学びと社会・職業とのつながりを理解する力 | 社会課題や産業構造を踏まえ、学びと職業・社会の関係を具体的に説明できる | 学びが社会や仕事とどのようにつながるかを理解し、説明できる | 職業や社会への関心はあるが、学びとのつながりがあいまいである | 社会や仕事を断片的に捉え、学びとの関係を考えられていない |
| 1 | 自己理解力 | 自分の興味・強み・価値観を振り返り、言葉で説明できるようにする力 | 経験を基に自分の強みや価値観を整理し、将来像と結び付けて語れている | 自分の興味や得意なことを振り返り、言葉で説明できる | 自分について考えてはいるが、言葉や根拠が十分でない | 自分の興味や特徴を振り返ることができていない |
| 2 | 進路設計力 | 将来像の実現に必要な条件や課題を整理し、今必要な学びや行動を計画・実行する力 | 目標から逆算し、必要な条件や課題を具体化した上で、段階的な計画を立て主体的に実行している | 目標を意識し、必要な条件や課題を整理して、今取り組むべき学びや行動を計画的に実行している | 将来像は描いているが、必要な条件や課題の整理が不十分で、行動計画が断片的になっている | 将来像や目標が明確でなく、条件や課題を整理できず、今の学びや行動と結びついていない |
| 3 | 学びの活用 | 学びを将来や社会につなげようと考え、行動に移そうとする姿勢 | 学びを将来や社会に結び付け、自ら行動や挑戦につなげている | 学びを将来に生かそうと考え、行動しようとしている | 学びの価値は感じているが、行動には十分につながっていない | 学びを将来と結び付けて考えられていない |

知識・技能

思考・判断・表現

主体性